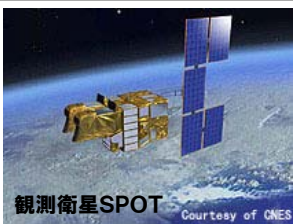


**事業計画の概要：リモートセンシング技術を活用したIT農業支援システムによる農業情報
 配信サービス及び自動可変施肥機の開発・販売事業**
 ～ 「客観的な農業情報サービス」に基づく低コスト、高品質作物の生産に貢献 ～

1. 北海道など大規模畑作地帯の小麦収穫作業では、収穫機械・乾燥施設の共同利用が進んでいるが、栽培品種の寡占化や作付面積の増加により施設・機械の利用時期が重なる機会が増え、適期収穫が困難になってきており、**乾燥機の稼働経費上昇や小麦の品質低下**を招いている。また、大規模畑作地帯で4輪作の重要作物であるビートの糖度は、窒素投入量の影響を受けるが、現在、多肥傾向にあり**糖分低下や環境負荷**の面で問題となっている。
2. このような中、(株)ズコーシャでは、生産コストを削減するには農業生産の効率化が必要であること、また、品質向上を図るには精密な施肥管理が効果的であることから、「**客観的な農業情報を提供するリモートセンシング技術**」を活用したIT農業支援システムの開発を行ってきた。
3. この結果、小麦の生産地域では、従来利用されている衛星リモートセンシングに加えて、産業用無人ヘリコプタによるリモートセンシング技術を活用することにより、各集落単位の麦作組合等が共同で行う収穫作業に関し、天候に関わりなく正確な情報を提供することが可能となり、①**事前調査の省力化**、②**刈り取り作業の効率化**、③**乾燥機の稼働コスト低減**、④**低アミロ回避等による品質向上**等が可能となった。また、リモートセンシングによる精密土壌マップから窒素肥料の投入量をコントロールするための可変施肥マップを提供し、さらに、本事業で可変施肥マップを使用した施肥を行う自動可変施肥機の開発を行い、当面、ビート栽培農家をターゲットに販売していくことで、**生産コストの低減や品質の高位平準化、環境負荷の低減**が可能となる。
4. 小麦収穫順・ビート可変施肥マップの販路開拓は、(株)ズコーシャが社内に「農業情報センター(仮称)」を設立し、ニーズの高い十勝・網走地域のJA・農家に対して市場開発を行い、可変施肥機の販路開拓については、ビート移植機の国内シェア70%を持つサークル機工(株)が行う。具体的な販売・PR戦略としては、協力機関の大学との共同で学会等に発表することや、さらに、(有)テクノ・ファームが実際の営農現場で施肥作業を行い市場浸透を目指す。



観測衛星SPOT Courtesy of CNES



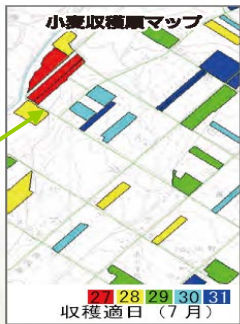
衛星写真

天候に左右され
ない情報

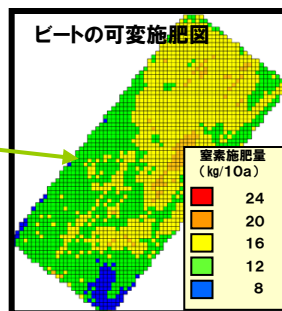


ヘリコプタセンシング

【小麦収穫情報提供による収穫(イメージ)】



【施肥情報提供による可変施肥(イメージ)】



連携モデル

技術指導

北海道大学
北海道高度情報化農業研究
研究会
JA帯広かわにし

協力企業

イメージワン(株)
人工衛星によるリモートセ
ンシング映像の提供

磯岩崎
PC・測位・通信機器の提供

ヤンマーヘリサービス(株)／ 大阪府大阪市

・産業用無人ヘリコプタの操縦ノ
ウハウ、センシング試験
・市場調査、市場開拓

(有)ビズ総合研究所／札幌市

・営業・販売マーケティング戦
略策定
・販売チャネルの確立・支援

コア企業:(株)ズコーシャ／帯広市

・IT農業支援システムの開発
・各種農業情報マップの提供
・農業情報センターの構築・運営

サークル機工(株)／滝川市

・可変施肥機の開発・販売
・可変施肥関連製品のPR
・可変施肥マップの販売チャ
ネルの提供

(有)テクノ・ファーム／帯広市

・テストフィールドの提供
・農業情報マップに基づいた実
践的営農
・製品のPR

市場

農業協同組合、大規模農業生産法人、大規模経営農家、
営農集団、農作業受託法人(コントラクター)

連携効果

リモートセンシング技術者、土壌・作物の有識者を有しているコア企業である(株)ズコーシャの技術力と、連携企業である産業用無人ヘリコプタセンシング技術と全国に販売チャネルを持つヤンマーヘリサービス(株)、可変施肥機開発のノウハウを持つサークル機工(株)市場開拓に実績のある(有)ビズ総合研究所、農業情報を活用した営農活動に実績を持つ(有)テクノ・ファームが連携することにより、事業の実現が可能となる。

新事業

人工衛星と産業用無人ヘリコプタにより取得したリモートセンシング画像を解析し、農業情報サービスとして、①天候に左右されない確実な小麦収穫情報の提供、②日本初の可変施肥情報の迅速な提供を行う。
また、可変施肥情報に対応した自動可変施肥機を開発・販売する。

市場性

ニーズの高い十勝・網走のJA・農家に対し市場開発を行うとともに、北海道全域でのマーケティング戦略を策定し市場開発を行う。
【小麦収穫情報】
農業協同組合
【可変施肥情報、可変施肥機】
大規模農業生産法人、営農集団、大規模経営農家、コントラクター

支援メニュー

【支援金融機関】 中小企業金融公庫

【活用(予定)支援メニュー】 ①補助金 ②設備投資減税 ③政府系金融機関の低利融資
④信用保証 ⑤中小企業投資育成会社による投資

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社ズコーシャ 代表取締役 関本祐至	
所在地	北海道帯広市西18条北1丁目17番地	
創立	昭和34年2月	
資本金・従業員数	1,200万円	294名
TEL/FAX	0155-33-4400	0155-33-4401
e-mail	soumu@zukosha.co.jp	
URL	http://www.zukosha.co.jp	